

問1 川が曲がって流れているところで、水のはたらきによって土がけずられていくのはどの部分ですか。

問2 流れる水が、土や石を別の場所へ運ぶはたらきのことを何といいますか。

問3 川の水の量が増えたときに、川の岸がけずられないようにコンクリートなどで人工的につくられた壁のことを何といいますか。

問4 川が曲がっている場所のうち、水の流れが速く、川底や川岸がけずられやすいのはどこですか。

問5 流れる水が、運んできた土や石を積もらせるはたらきのことを何といいますか。

問6 大雨によって川の水の量が多くなったとき、川の水が土地を削ったり土や石を運んだりするはたらきはどうなりますか。

問7 川の水の量が増えたとき、しん食・運ばん・たい積といった「流れる水のはたらき」はどのようになりますか。

問8 雨がたくさん降るなどして、川の水の量が増えたとき、川の流れの速さはどのようになりますか。

問9 平地を流れる川の中ほどの部分で、土地の傾きや水の流れが上流よりもゆるやかなところを何といいますか。

問10 川の下流で見られる石には、どのような特徴がありますか。

問11 石が入った針金のかごを川の岸に並べて、川の岸が削られるのを防ぐための工夫を何といいますか。

問12 流れる水が石や砂を積もらせるはたらきは、どのような場所で大きくなりますか。

問13 川を流れる水が増えて流れが速くなったとき、土や石を運ぶ「運ばん」のはたらきはどうなりますか。

問14 川岸をコンクリートなどでかためる「護岸」を行う、一番の目的は何ですか。

問15 流れが速く、土地を強くけずり、まわりに角ばった大きな石がたくさん見られるのは、どのような場所にある川の特徴ですか。

問16 流れる水のはたらきである「たい積」によって、地面に積もるものは何ですか。

## 答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 曲がっているところの外側	川が曲がって流れているところでは、外側の土が水にけずられていきます。反対に、内側には土が積もっていきます。
問2	答え 運ばん	流れる水が土や石を運ぶはたらきを「運ばん」といいます。
問3	答え ていぼう (堤防)	川の水の量が増えたときに、川の岸がけずられないように人工的につくられた壁 <small>かべ</small> をていぼうといっています。
問4	答え 川の曲がっているところの外側	川が曲がっているところの外側は、水の流れが速いため、川底や川岸がけずられやすくなっています。
問5	答え たい積	流れる水が土や石を積もらせるはたらきを「たい積」といいます。
問6	答え はたらきが大きくなる	大雨で川の水の量が多くなると、土地を削 <small>けず</small> ったり土や石を運んだりするはたらきが大きくなり、災害につながる場合があります。
問7	答え 大きくなる	川の水の量が増えると、地面を削 <small>けず</small> るしん食、石や砂を運ぶ運ばん、それらを積もらせるたい積のすべてのはたらきが大きくなります。
問8	答え 速くなる	川の水の量が増えると、川の流れは速くなります。そのため、雨が降 <small>ふ</small> った後の川は流れが強くなります。
問9	答え 中流	平地を流れる川の中ほどの部分を「中流」といいます。土地の傾きや水の流れは上流よりもゆるやかです。
問10	答え 丸くて小さな石が多い	川の下流で見られる石は、丸くて小さな石が多いのが特徴 <small>とくちょう</small> です。
問11	答え じゃかご	石を入れた針金 <small>はりかね</small> のかごを川の岸 <small>なら</small> に並べたものを「じゃかご」と呼び、川 <small>よ</small> の岸が削 <small>けず</small> られるのを防ぐために使われます。
問12	答え 水の流れが遅いところ	流れる水は、水の流れが遅いところほど、石や砂を積もらせるはたらきが大きくなります。
問13	答え 強くなる	流れる水の量が増えて流れが速くなると、土や石を運ぶ力（運ばんするはたらき）は強くなります。
問14	答え 川岸が削られるのを防ぐため。	護岸は、流れる水のはたらきによって川岸が削 <small>けず</small> られるのを防ぐために行われます。
問15	答え 山の中の川	山の中の川は、流れが速く、土地をけずるはたらきが強いため、角ばった大きな石が見られます。
問16	答え 流されてきた土や石	たい積は、流れる水によって流されてきた土や石を積もらせるはたらきのことです。